



伊那谷遺産

第2部

飯田の城下町を南北に分ける深い谷には江戸時代、木製の谷川橋が架けられていた。橋は急坂を下った場所にあったが、明治初期に橋の前後の坂を埋め立ててアーチ型の石橋を整備した。組んだ石は長姫城郭（飯田城の別称）の石で、橋名も「長姫橋」に改称。その形状から「めがね橋」とも呼ばれていたが、1947年の大火後の改修を機に通称

「めがね橋」が正式名になった。大火の後、谷は埋められ、階段を上っていった。性(74)がそう話しながら

⑤ **めがね橋（長姫橋）** 飯田市

長姫城郭の石で整備



が正式名になった。大火の後、谷は埋められ、

橋の上流側、下流側に公園が整備された。「一輪車で土を運んできて谷に入れる手伝いをしました。こんなことを子どもたちに話すと笑われるんですけどね。買い物帰りの女性(74)がそう話しながら階段を上っていった。」

（文・倉田高志、絵・片桐美登）



QRコードから天上事務所HPへ

平成26年2月11日掲載
長野日報 / 1面